

分 担		指 導 上 の 留 意 点
T <sub>2</sub>	T <sub>3</sub>	
せる。 転の学習の進め方や せる。 。 て体操させる。  導をする。 み切りで倒立させる	○児童の健康状態をみる。 ○見学児への指示  ○個別指導をする。	○教科書によって倒立と台上前転の基本的なフォームをみせる。  ○興味本位にならないようにする。 ○腹筋と筋力を重点に行なう。  ○ふたり組は力のつり合った者とくませる。 ○能力の低い者には二人の補助者をつける。 ○補助者は手のはば・指の開きと方向目の位置などについて気をくばりながら補助させる。 ○各グループの能力に合った高さのとび箱でまわらせる。 ○恐怖心をとりのぞくために、とび箱の横にマットをしき安全に配慮する。 ○進歩したことがみとめられた時は上の段階に進ませる。 ○お互いに話し合って協力して練習させる。 ○各グループごとに必要により話し合いをさせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             手をつく位置・目のつけどころ              けり上げたときのフォーム              たおれそうになった時の支持要領              着地の仕方           </div> 導をする。 せをさせる。 たまま・両足 手のつき方 める。 をつかませる) がとび箱の先端につ らせる。 ひざを伸ばして前転	○A グループの指導をする。 ・腕立て腰浮かしをさせる。 （ひざを伸ばして両足のふみ） （切り・手のつき方） ・ふみ切りで強く高くあがる練習をさせる。 ・着地のとき腰がとび箱の先端につくようにまわらせる。 ・とび箱にかかるく手をついても前転できるようにする。	○各グループの能力に合った高さのとび箱でまわらせる。 ○恐怖心をとりのぞくために、とび箱の横にマットをしき安全に配慮する。 ○進歩したことがみとめられた時は上の段階に進ませる。 ○お互いに話し合って協力して練習させる。 ○各グループごとに必要により話し合いをさせる。
をする。	6.全体指導をする。 ○トロイカを踊らせる。	○整理運動としてフォークダンスをのびのびとさせる。 ○本時の反省から倒立や前転の練習を自主的にするようにさせる。

ウ 小集団の場合の必要な用具の数とその配置、巡回方法、学習のきまりを考えた。

### ③ 集団の編成

- 話し合い準備運動整理運動……大集団
- 能力の差がなく身長順や男女別に分ける場合 ……中集団
- 中心教材(能力差のある場合) 小集団(弾力的な編成をたてまえとする)
- 児童の学習目標から能力別の基準をき

め3つのグループにわけた。

- A グループ…前転の要領が理解されあ  
る程度なめらかにまわられる。
- B グループ…前転の要領は理解された  
がなめらかでない。
- C グループ…前転の要領がよく理解さ  
れずよくまわれない。
- 第1次で集団編成を行ない。さらに実  
践過程で向上度合いによって編成がえ  
を弾力的に行なう。